

## 会員の権利守り医療充実に全力 11・12年度方針や役員など決める

6/5  
2011年第1076号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

協会は第47回通常評議員会を5月21日、M&Dホールで開き、社会保障拡充や診療報酬引き上げ、患者負担軽減などをめざす2011・12年度活動方針案や11年度予算案、理事・監事選出など、すべての議案を賛成多数で可決した。また、評議員会後の第3回理事会で、新理事長に小澤力氏を選出した。(2面に評議員会と選出された理事・監事一覽)

### 新理事長に小澤力氏選出 第3回理事会

伊津進弘理事長はあいさつで、協会の成果を紹介し、「会員数の伸びと共に協会の存在意義が高まっている」と強調。創立40周年を迎え、「保険でよい歯科医療の運動を強めていきたい」と語った。

1号議案「情勢、09・10年度総括、11・12年度方針」を提案した小澤力副理事長は、「社会保障と税の一体改革」や消費税増税など、「社会保障を破壊する」政策に強く反対することを示した。重点課題は「社会保障充実であり、患者負担軽減、診療報酬改善である」とし、会員の権利と国民医療を守るために全力を尽くすと訴えた。被災者支援に引き続き取り組むことなどを訴えた。

議案・11年度予算案を説明。被災地支援を強めるために災害対策積立金から取り崩して計上したところや、創立40周年記念事業へ配分したことが特徴だと話した。

5号議案では、新任3人を含む理事24人、監事2人を提案した。1号議案について、福西啓八評議員(大阪市西

部地区)から「救援募金は被災各県に送金したという記述では分かりにくい。義援金口座など明確にすべき」との発言があった。藤井佐都樹評議員(南河内地区)からは事務体制について発言があり、伊津理事長が答弁した。被災地で歯科医療支援にあたった戸井逸美氏(大阪市東部地区)

は、現地の状況を報告し、さらなる支援の必要性を訴えた。1号議案は、指摘部分を修正の上、2・5号議案は原案通り、賛成多数で可決した。最後に、政

府の社会保障制度改革を問う決議と原発依存のエネルギー政策からの転換を求める決議を満場の拍手で採択した。

小澤氏(新)、副理事長に貴島正彦、下井昭介、辻本勝、富本昌之(新)、三井泰正(新)、山上紘志、吉田裕志各氏を選出した。

### 小澤力 新理事長の抱負



大阪府歯科保険医協会、憲法の理念に基和・民主主義・社会保

### 協会の理念を全力挙げて

このたび、理事長に指名をしていただくにあたり、協会の理念と目的を全力を挙げて前進め、会員の先生方を守り、国民医療を発展させる」目的で、40年前に100人の先生方が発足され、40周年を迎えました。今日、3850人の先生方が会員として、協会の様子を

ご指導、ご鞭撻よろしくお願い致します。



### 『40年史』を発行

本紙同封

「大阪歯科の20年」を発行し、当時お届けしていることから、その後の91年から2010年までの20年間の追加史としました。ぜひ一読頂きたく送付しました。

特徴は、その年の主な取り組みを「読み物風」に記述した点にあります。古くから協会を支えて頂いた先生方には「こんな取り組みがあったな」と懐かしさが実感できるかと思えます。また、新しく入会頂いた先

生には「こんなこともしていたんだ」と、歴史を参考にこれからの運動を考える一助にして頂ければ幸いです。

1971年4月18日、100人の会員を擁して発足した協会は、この4月18日、創立40周年を迎えました。記念の取り組みの一つとして『40年記念誌1991〜2010年の20年史』を発行しました。本誌は91年5月に

増加は被曝線量に比例するので「一定線量まで被曝しても良い」というようなことは言えない。放射線は浴びなければ浴びないほど良い。の健康管理を推進しなければならぬ。そして、汚染土壌の処理を含めた農業などの安定的再開、海洋と水産物の汚染のきめ細かい測定と公表が必要である。

### 被爆科学者・沢田昭二氏が語る



のことで、一定の線量以下では大丈夫という説明は正しくない。被曝による障害の発症には、大きく

では、4000シーベルトで0・15%、1・5シ

発症する人がいるということを理解しようとしていない。政府は原発事故による被曝の影響を把握するために、白血球減少

る。福島原発事故による被曝は幸いまた急性症状が問題になる被曝ではないが、晩発性障害が問題で、曲型はがんである。被曝者と非被曝者の広島

増加は被曝線量に比例するので「一定線量まで被曝しても良い」というようなことは言えない。放射線は浴びなければ浴びないほど良い。

の健康管理を推進しなければならぬ。そして、汚染土壌の処理を含めた農業などの安定的再開、海洋と水産物の汚染のきめ細かい測定と公表が必要である。

日本はジャーナリズムは「一見すると数社の寡占で頂上を形成しているように見えるが、広大な中腹から裾野にはしどろく發行を続ける無数の機関紙や広報誌が繁茂している。本紙は協会の機関紙だが、ジャーナリズムとしての独自性も意識も問

## 基準以下でも被曝障害発症 一刻も早い原発終息と政策転換

### 一刻も早い原発終息と政策転換

な個人差があるからだ。

晩発性障害が問題

放射線影響研究所の前身の原爆傷害調査委員会(ABCC)が実施した広島と長崎の被曝者調査

1シーベルトになると5・7%が脱毛を発症した。敏感な人は、放射線量が10分の1でも、100分の1でも発症する。「健康に影響しない」と主張する人たちは、わずかでも

もので早期発見に努めるべきだ。放射線障害は、急性と晩発性がある。急性障害は、被曝して1〜2週間から数カ月以内に下痢や脱毛、紫斑などを発症す

県民のがん死亡率を調べた広島大学原爆放射線医学科学研究所の研究によれば、1シーベルトの被曝で年間がん死亡率が約0・15%増加する。個人差もあるが、がんの発症の

強い権限を持つ原発事故委員会を立ち上げることだ。事故の収拾計画を立て、汚染地域の放射能のきめ細かい測定や居住環境の調査、被曝した人々

は、「安全神話」を振りまいてきた専門家を除き、国民の安全に責任を持つ専門家を総結集し、強い権限を持つ原発事故委員会を立ち上げることだ。事故の収拾計画を立て、汚染地域の放射能のきめ細かい測定や居住環境の調査、被曝した人々

名古屋大学名誉教授(さわだ・しょうじ)(おわり)

### 歯界

民間企業が出す広報誌には、従業員向けの社内報と外部へのPR誌との両面を目指す3種類がある。昔、武田薬品の広報誌に抜歯後患者が風船を膨らませようとしたら顔面が膨らんだという興味ある症例が載っていた。現在、多くの薬品や化粧品メーカーは結構広範囲な情報提供をしている。営業や開発の部門から独立して自由な活動が認められているようだが、かつてのサントリーの広報誌は当時流行したトリス・バーで酔客の目を惹きつけ、後に直木賞作家など多数の流行作家から著名なイラストレーターまでを輩出した。まるで文壇のサントリー派とも言えるような一団で一時代を築いていた。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)